

## 1人1台端末を活用した多様な連携活動の実践事例

都道府県名	茨城県	学校名	茨城県立水戸商業高等学校
科目名 (学年・単位数)	課題研究（3年：2単位）		
連携活動の相手先	企業、地方公共団体など		
1人1台端末 以外の使用機器等	Zoom、Google Workspace for Education		

### 1 授業概要

#### (1) 年間計画

- ・4月～6月 SDGsに関するテーマを設定し、調査研究、発表
- ・7月～3月 高校生Ringへの応募準備

#### (2) 活動内容

- ・4月～6月 SDGsに関するテーマを設定し、調査研究、発表  
SDGsの目的や目標、各目標の達成すべきことを調べる。

企業や地方公共団体などを一つ取り上げ、その企業へインタビューやフィールドワークを、生徒各自でアポイントを取った上で行う。

A3判2枚にまとめてポスターセッション形式で発表。

- ・7月～3月 高校生Ringへの応募準備

株式会社リクルート主催のアントレプレナーシップ（自ら問いを立て、自ら行動し、自ら変化を起こす力）を身に付けるための教育プログラム。

半径5メートルにある、自分の視点からビジネスを考えるプログラムを考え、提案する。

### 2 連携活動のねらい・工夫・評価

#### (1) ねらい

SDGs17目標の中から、グループ単位で担当を割り振り、SDGsの目標自体について理解を深めさせる。

その上で、目標達成のためにどのような取り組みを行っているかを調べるため、身近な企業など一つ取り上げ、その企業での取り組み内容について担当者に直接質問を行う。

#### (2) 工夫

本校が所在する水戸市以外の地域にある企業などについては、生徒の端末を使用してZoomやメールを使用して10社程度インタビューを行った。

#### (3) 評価

グループ活動状況、インタビューの内容・取組姿勢、レポートの作成・発表、学習状況の振り返り



### 3 成果及び課題

#### (1) 成果

企業がSDGsにどのように取り組んでいるかを、担当者から直接話を聞くことによって、企業のWebページやパンフレットからでは読み取れない内容を知ることができた。

#### (2) 課題

アポイントを取るにあたり、生徒への事前指導や企業へ教員側から再度連絡を入れる必要があるなどスムーズに連絡・調整することがうまくできなかった点が挙げられる。



### 4 今後に向けて

1人1台端末を活用し、Zoomやメールなどのコミュニケーションツールを使うことで、様々な学習を効果的に進めていけるようにしていきたい。

また、今回の取り組みをきっかけとして、企業とのパイプができ、今後もインタビュー調査や商品開発などの活動にもつなげていきたい。